

平成31年度幼稚園の園児を募集します

申込受付期間:平成30年11月1日(木)～11月22日(木)

子ども・子育て支援制度により、就学前の子どもの教育・保育を保障するための支給認定制度が導入されています。

幼稚園の入園手続は、①保育の必要性の認定申請と、②幼稚園入園の申込みが必要です。

詳しくは各自治会配布の回覧文書または奥出雲町ホームページをご覧ください。



【入園対象児】 小学校就学前の児童で、教育・保育を必要とする児童
(平成25年4月2日以降に生まれた児童)

【入園定員】 布勢[40名] 三成[100名] 亀嵩[35名] 阿井[55名] 三沢[20名]
横田[80名] 八川[50名] 馬木[40名]
※鳥上幼稚園は休園中のため募集は行いません。

【入園手続】
○新規入園希望の方…入園申込用紙等は、役場 結婚・子育て応援課(横田庁舎)または町民課(仁多庁舎)、および町内の各幼稚園にあります。
○継続入園希望の方…現在、入園しているお子様も、申込みが必要です。
申込用紙は、各幼稚園を通じてお渡します。

<幼稚園入園に関するお問い合わせ先>

結婚・子育て応援課 有線:20-4272 電話:0854-52-2206

土地取引の届出制度について

国土利用計画法により、一定面積(※)以上の取引(売買、交換等)をした場合は**契約締結日を含めて2週間以内**に取り引きした土地が所在する市役所又は町村役場へ届出が必要です。

※届出が必要な面積は次のとおりです。

- ①市街化区域内の土地 2,000㎡以上
- ②①を除く都市計画区域内の土地 5,000㎡以上
- ③都市計画区域以外の土地 10,000㎡以上

【お問い合わせ先】

島根県庁用地対策課
電話:0852-22-5077
奥出雲町役場企画財政課
電話:0854-54-2522

全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間

松江地方法務局及び島根県人権擁護委員連合会では、女性をめぐる様々な人権問題の解決を図るため、下記のとおりいつもより相談時間を延長して電話での相談に応じます。

夫やパートナーからの暴力、職場におけるセクシュアル・ハラスメントやストーカー行為など日常生活の悩みごとでお困りの方、周りでそういったことを見聞きしたという方はどうぞ電話をかけてみてください。

相談は無料で秘密は守られますので、一人で悩まずお気軽にご相談ください。

相談ダイヤル 0570-070-810

【期間】11月12日(月)～18日(日)
【時間】月～金曜日 午前8時30分～午後7時
土・日曜日 午前10時～午後5時

【相談員】法務局職員又は人権擁護委員

【お問い合わせ先】

松江地方法務局人権擁護課
電話:0852-32-4260
町民課戸籍グループ
有線:31-5106 電話:54-2510

新米を初出荷 奥出雲仁多米(株)で出発式



▲出発式の様子

9月20日、奥出雲仁多米株式会社のカントリーエレベーターより、新米の出荷が始まりました。

今年は日照時間が長く、8月中旬を過ぎてからの昼夜の寒暖差により食味値の高い米が生産できたとのこと。出発式では、内田康也管理部長が「猛暑や豪雨などの被害を乗り越え、新米を収穫することができた。全国のお客様に自信をもってお届けしたい」と挨拶し、トラックの運転手2人に仁多米を手渡しました。

20日時点で約2,000件の注文が入っており、初出荷の量は12トン。今後も定期的に全国各地の店舗や個人購入の方へ発送されます。

福井しあわせ元気国体2018

—第73回国民体育大会—

本町からの出場選手を紹介します。

自転車競技 (9月25日～29日)

源 翔太さん

相撲競技 (9月30日～10月2日)

妹尾 拓史さん

ホッケー競技 (10月4日～8日)

島根県ホッケー成年男子

第18回アジア競技大会ホッケー競技
サムライジャパン、さくらジャパン優勝



▲金メダルを獲得したサムライジャパン

8月19日から9月1日にかけて、インドネシアのジャカルタで行われた第18回アジア競技大会ホッケー競技で男子日本代表「サムライジャパン」、女子日本代表「さくらジャパン」が見事、初優勝を果たしました。この大会には、横田高校出身の選手9人が選出され大活躍しました。(出場選手は以下のとおり)

2020年の東京大会出場へ向け今後さらなる活躍が期待されます。

日本男子代表「サムライジャパン」

膳棚 大剛選手 田中 世蓮選手
落合 大将選手 山崎 晃嗣選手
福田 健太郎選手

日本女子代表「さくらジャパン」

加藤 彰子選手 錦織 えみ選手
景山 恵選手 石橋 唯今選手



▲左から加藤選手、錦織選手

地域おこし協力隊員の任期満了 3年間ありがとうございました

地域おこし協力隊員で農業応援研修員の佐藤邦和さんと長本寛司さんが9月30日付けで3年間の任期を終えられました。佐藤さんは株式会社ふく(大馬木)でほうれん草栽培等に、長本さんは奥出雲農園(横田)でトマト栽培に従事し、本町の農業振興に寄与されるとともに、地域の課題解決に向けた活動に積極的に取り組んでいただきました。

佐藤 邦和さん 農業応援研修員

農業支援員として3年間活動し、無事任期満了の日を迎えました。着任当初は島根での生活や農業の仕事も初めてで不安でしたが、町民の皆様の助けや協力を得られたことが心の支えとなり生活や仕事を続けることができました。あらためて支えてくださった方々に感謝します。今後は故郷の埼玉へ戻りますが、ここで過ごした時間を忘れず、新天地でも頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

長本 寛司さん 農業応援研修員

長いようで短く感じた3年間の任期が終了しました。この3年間は町民の皆様に様々なことを助けていただき感謝しています。ありがとうございました。これからも奥出雲町民の一人として、引き続きよろしくお願いします。



▲左から長本隊員、佐藤隊員